

2-7. 配偶者暴力・ストーカー行為等の再被害の状況

配偶者暴力及びストーカーの再被害（警察や行政に通報・相談した後に同じ加害者から再び被害にあうこと）の状況として、被害後の対処行動、警察・行政への通報・相談状況、再被害の有無・内容等について分析する。

(1)被害後の対処行動

被害後の対処行動については、配偶者暴力では「上記のような自衛のための措置はとっていない」（36.0%）、「別居・離婚をした」（34.2%）、ストーカーでは「あなた自身が相手に働きかけた」（26.4%）、「あなた以外の人に相手に働きかけてもらった」（25.6%）との回答比率が高くなっている（図表7-1）。

加害者の属性別にみると、「配偶者・交際相手」では「別居・離婚をした」（29.2%）、「知人、友人、職場・学校の関係者」では「あなた以外の人に相手に働きかけてもらった」（29.8%）、「知らない人・わからない人」では「あなた自身が相手に働きかけた」（21.4%）との回答比率がそれぞれ高い（図表7-2）。

図表 7-1 対処行動（複数回答）_配偶者暴力、ストーカー【Q17】

	全体	あなたが相手に働きかけた	あなた以外の人に相手に働きかけてもらった	電話番号やメールアドレスを変えた	SNSの自分のアカウントを変更・削除した	SNSの相手のアカウントをブロックした	通学または通勤時間を変えた	通学または通勤経路を変えた
配偶者暴力	114	30 (26.3%)	14 (12.3%)	1 (0.9%)	2 (1.8%)	2 (1.8%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)
ストーカー行為等	125	33 (26.4%)	32 (25.6%)	23 (18.4%)	9 (7.2%)	14 (11.2%)	17 (13.6%)	20 (16.0%)

	学校または仕事を辞めた、変えた	学校または仕事をしばらく休んだ（休学、休職）	実家や友人宅、シェルターなどに避難した	転居をした	別居・離婚をした	その他	上記のような自衛のための措置はとっていない
配偶者暴力	3 (2.6%)	1 (0.9%)	5 (4.4%)	5 (4.4%)	39 (34.2%)	6 (5.3%)	41 (36.0%)
ストーカー行為等	15 (12.0%)	4 (3.2%)	4 (3.2%)	17 (13.6%)	1 (0.8%)	6 (4.8%)	20 (16.0%)

図表 7-2 加害者の属性別、対処行動（複数回答）_配偶者暴力、ストーカー【Q3、Q17】

	全体	あなたが自身が相手に働きかけた	あなた以外の人に相手に働きかけてもらった	電話番号やメールアドレスを変えた	SNSの自分のアカウントを変更・削除した	SNSの相手のアカウントをブロックした	通学または通勤時間を変えた	通学または通勤経路を変えた
家族	5	3 (60.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)
配偶者・交際相手	130	36 (27.7%)	20 (15.4%)	8 (6.2%)	4 (3.1%)	4 (3.1%)	2 (1.5%)	3 (2.3%)
知人、友人、職場・学校の関係者	57	15 (26.3%)	17 (29.8%)	11 (19.3%)	6 (10.5%)	10 (17.5%)	7 (12.3%)	8 (14.0%)
知らない人・わからない人	42	9 (21.4%)	8 (19.0%)	4 (9.5%)	0 (0.0%)	1 (2.4%)	7 (16.7%)	7 (16.7%)
その他	5	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)

	学校または仕事を辞めた、変えた	学校または仕事をしばらく休んだ（休学、休職）	実家や友人宅、シェルターなどに避難した	転居をした	別居・離婚をした	その他	上記のような自衛のための措置はとっていない
家族	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)
配偶者・交際相手	6 (4.6%)	2 (1.5%)	5 (3.8%)	11 (8.5%)	38 (29.2%)	6 (4.6%)	38 (29.2%)
知人、友人、職場・学校の関係者	10 (17.5%)	2 (3.5%)	2 (3.5%)	7 (12.3%)	0 (0.0%)	2 (3.5%)	12 (21.1%)
知らない人・わからない人	1 (2.4%)	1 (2.4%)	2 (4.8%)	3 (7.1%)	1 (2.4%)	2 (4.8%)	9 (21.4%)
その他	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)

※【家族】父、母、継父、継母、母の交際相手、父の交際相手、兄弟姉妹、子、祖父母／【配偶者・交際相手】配偶者（事実婚・パートナーを含む）、元配偶者（事実婚・パートナーを解消した方を含む）、交際相手、元交際相手／【知人、友人、職場・学校の関係者】職場、アルバイト先の関係者、通っていた学校の関係者（上司、同僚、部下、取引先の相手、学校の教員など）、知人、友人、SNS で出会った人／【知らない人・わからない人】全く無関係の人、知らない人、わからない／【その他】

※以降の同項目についての分類も同様。

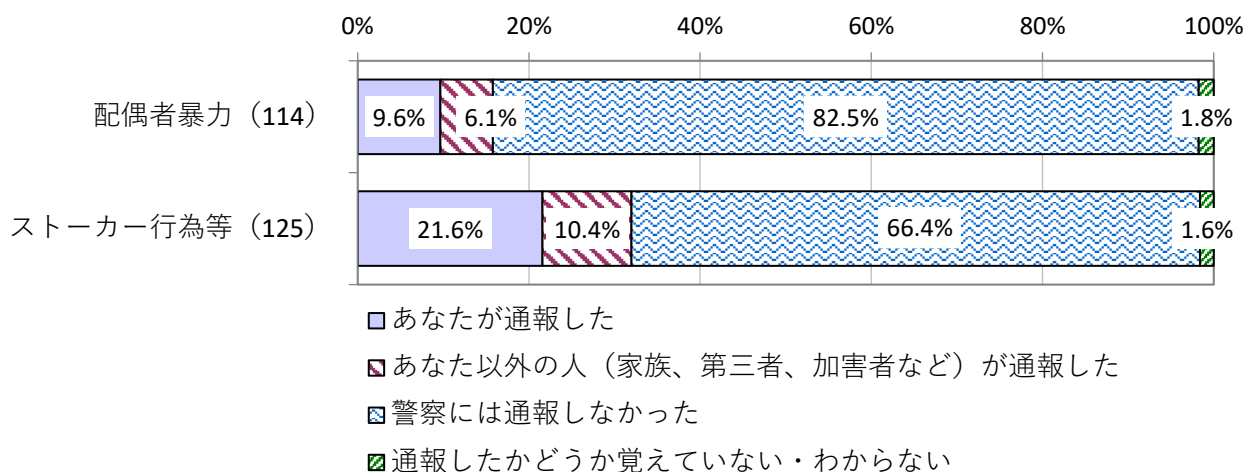
(2)警察・行政への通報・相談状況

A. 警察・行政への通報・相談の有無

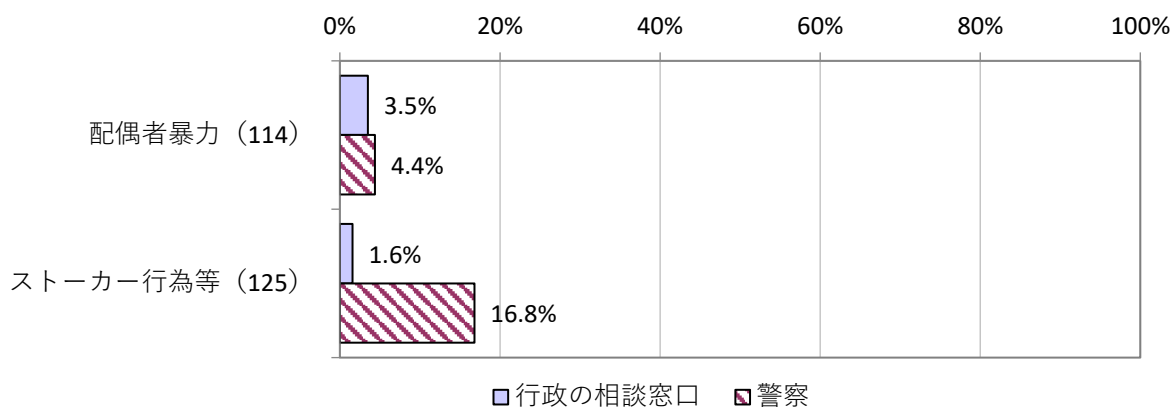
警察への通報の有無については、警察に通報した（「あなたが通報した」と「あなた以外の方が通報した」の和）との回答比率（＝警察への通報率）は、配偶者暴力で 15.7%、ストーカーで 32.0%となっている（図表 7-3）。

警察・行政への相談の有無については、「警察」に相談したとの回答比率は、配偶者暴力で 4.4%、ストーカーで 16.8%となっており、「行政の相談窓口」に相談したとの回答比率は、配偶者暴力で 3.5%、ストーカーで 1.6%となっている（図表 7-4）。

図表 7-3 警察への通報の有無_配偶者暴力、ストーカー【SC4】



図表 7-4 警察・行政へ相談したとの回答比率（複数回答）_配偶者暴力、ストーカー【SC5】



※【行政の相談窓口】地方公共団体の総合的対応窓口、児童相談所、性犯罪・性暴力被害のためのワンストップ支援センター、その他の行政機関・福祉機関の相談窓口

イ. 警察・行政の対応状況

警察や行政への通報・相談行為により、加害者に対して警察や行政がとった対応については、配偶者暴力では「上記のような措置は希望しなかった」(31.8%)、ストーカーでは「警察が加害者を呼び出して警告した」(33.3%)との回答比率が最も高くなっている(図表7-5)。

加害者の属性別にみると、「配偶者・交際相手」では、「上記のような措置は希望しなかった」(25.8%)との回答比率が最も高く、次いで「警察が加害者を呼び出して警告した」「上記のような措置を希望したが、これらの対応は行われなかった」となっている。また、「知人、友人、職場・学校の関係者」では「警察が加害者を呼び出して警告した」(58.3%)、「知らない人・わからない人」では「どのような対応が行われたかはわからない」(33.3%)との回答比率が高くなっている(図表7-6)。

図表 7-5 警察・行政の対応状況(複数回答) 配偶者暴力、ストーカー【Q18】

	全体	警察が加害者を呼び出して警告した	警察が加害者を逮捕・検挙した	ストーカー規制法に基づく書面(文書)警告が行われた	ストーカー規制法に基づく禁止命令が行われた	配偶者暴力防止法に基づく保護命令が行われた	その他の対応が行われた	上記のような措置を希望したが、これらの対応は行われなかった	上記のような措置は希望しなかった	どのような対応が行われたかはわからない
配偶者暴力	22	4 (18.2%)	1 (4.5%)	0 (0.0%)	1 (4.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (22.7%)	7 (31.8%)	4 (18.2%)
ストーカー行為等	42	14 (33.3%)	5 (11.9%)	3 (7.1%)	6 (14.3%)	1 (2.4%)	1 (2.4%)	3 (7.1%)	7 (16.7%)	11 (26.2%)

※対象：SC4(警察に通報したか)で本人若しくは本人以外の方が通報したと回答した方、又はSC5(相談した相手・機関)で行政の相談窓口若しくは警察と回答した方(配偶者暴力：22人、ストーカー行為等：42人)のみ。

図表 7-6 加害者の属性別、警察・行政の対応状況(複数回答) 配偶者暴力、ストーカー【Q3、Q18】

	全体	警察が加害者を呼び出して警告した	警察が加害者を逮捕・検挙した	ストーカー規制法に基づく書面(文書)警告が行われた	ストーカー規制法に基づく禁止命令が行われた	配偶者暴力防止法に基づく保護命令が行われた	その他の対応が行われた	上記のような措置を希望したが、これらの対応は行われなかった	上記のような措置は希望しなかった	どのような対応が行われたかはわからない
家族	0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
配偶者・交際相手	31	7 (22.6%)	1 (3.2%)	1 (3.2%)	2 (6.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (22.6%)	8 (25.8%)	6 (19.4%)
知人、友人、職場・学校の関係者	12	7 (58.3%)	2 (16.7%)	2 (16.7%)	4 (33.3%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	1 (8.3%)	2 (16.7%)
知らない人・わからない人	21	4 (19.0%)	3 (14.3%)	0 (0.0%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	5 (23.8%)	7 (33.3%)
その他	0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

※対象：SC4(警察に通報したか)で本人若しくは本人以外の方が通報したと回答した方、又はSC5(相談した相手・機関)で行政の相談窓口若しくは警察と回答した方(64人)のみ。

ウ. 警察・行政が対応した後の加害者の状況

警察・行政が対応した後の加害者の状況については、図表 7-7 のとおり。

図表 7-7 警察・行政が対応した後の加害者の状況_配偶者暴力、ストーカー【Q19】

	全体	懲役刑の判決を受けて刑務所に服役した	懲役刑の判決を受けたが執行猶予が付いた	罰金刑を科された	その他	特に何もなかった	わからない
配偶者暴力	6	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (100.0%)	0 (0.0%)
ストーカー行為等	21	2 (9.5%)	0 (0.0%)	1 (4.8%)	4 (19.0%)	9 (42.9%)	5 (23.8%)

※対象：SC 4（警察に通報したか）で本人若しくは本人以外の方が通報したと回答した方、又は SC 5（相談した相手・機関）で行政の相談窓口若しくは警察と回答した方（64人）のうち、Q18（通報・相談による加害者への対応）で「警察が加害者を呼び出して警告した」「警察が加害者を逮捕・検挙した」「ストーカー規制法に基づく書面（文書）警告が行われた」「ストーカー規制法に基づく禁止命令が行われた」「配偶者暴力防止法に基づく保護命令が行われた」「その他の対応が行われた」と回答した方（配偶者暴力：6人、ストーカー行為等：21人）のみ。

エ. 警察・行政の対応を希望しなかった場合におけるその理由

警察・行政の対応を希望しなかった場合の理由については、図表 7-8 のとおり。

図表 7-8 警察・行政の対応を希望しなかった理由（複数回答）_配偶者暴力、ストーカー【Q20】

	全体	加害者からの仕返しが怖かったから	手続などが大変だと思ったから	周囲の目が気になるから・大ごとにしたくなかったから	相手との人間関係を終わらせたくなかったから	これらの措置をとるほどの被害ではないと思ったから	これらの措置をとってから物事がどのように進むのか予想がでないから	知らなかったから、そういうものがあると言われなかったから	その他
配偶者暴力	7	3 (42.9%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)
ストーカー行為等	7	2 (28.6%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)

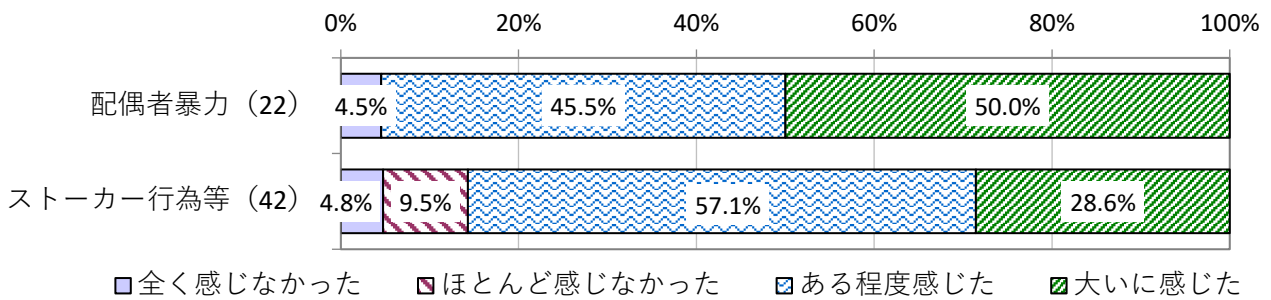
※対象：SC 4（警察に通報したか）で本人若しくは本人以外の方が通報したと回答した方、又は SC 5（相談した相手・機関）で行政の相談窓口若しくは警察と回答した方（64人）のうち、Q18（通報・相談による加害者への対応）で「上記のような措置は希望しなかった」と回答した方（配偶者暴力：7人、ストーカー行為等：7人）のみ。

(3)再被害の有無・内容

ア. 再被害の不安

警察や行政に通報・相談した後に同じ加害者から再び何らかの被害(=再被害)を受ける不安を感じたかについては、「感じた」(「ある程度感じた」と「大いに感じた」の和)との回答比率は、配偶者暴力で95.5%、ストーカーで85.7%となっている(図表7-9)。

図表 7-9 再被害の不安_配偶者暴力、ストーカー【Q21】

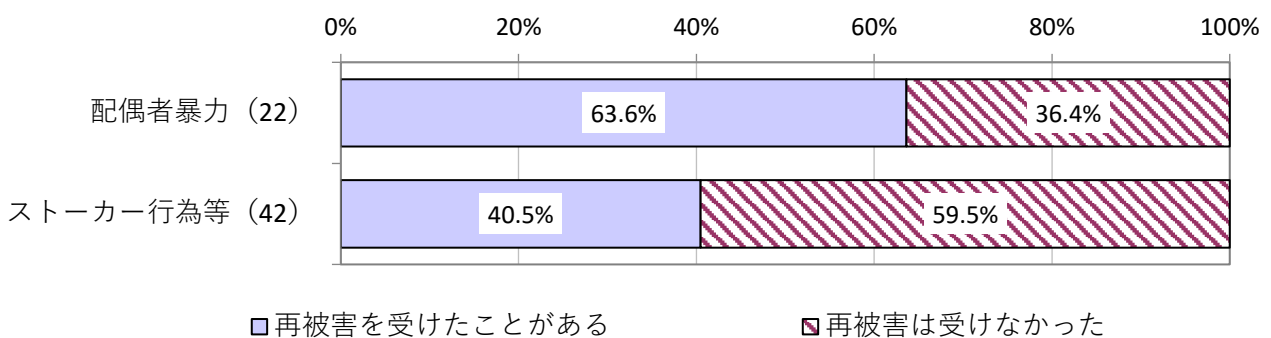


※対象：SC 4（警察に通報したか）で本人若しくは本人以外の方が通報したと回答した方、又は SC 5（相談した相手・機関）で行政の相談窓口若しくは警察と回答した方（配偶者暴力：22人、ストーカー行為等：42人）のみ。

イ. 再被害の有無

警察や行政に通報・相談した後の再被害について、「再被害を受けたことがある」との回答比率は、配偶者暴力で63.6%、ストーカーで40.5%となっている(図表7-10)。

図表 7-10 再被害の有無_配偶者暴力、ストーカー【Q22】

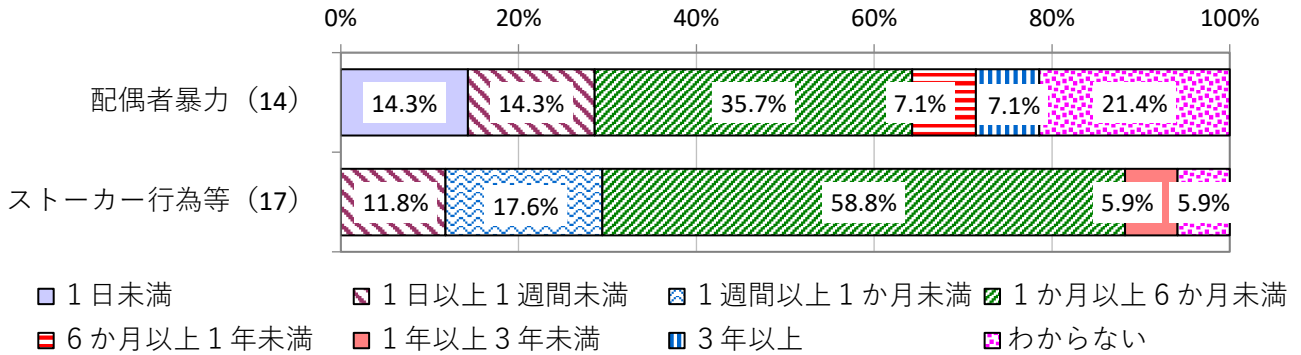


※対象：SC 4（警察に通報したか）で本人若しくは本人以外の方が通報したと回答した方、又は SC 5（相談した相手・機関）で行政の相談窓口若しくは警察と回答した方（配偶者暴力：22人、ストーカー行為等：42人）のみ。

ウ. 再被害を受けるまでの期間

再被害を受けるまでの期間については、図表7-11のとおり。

図表 7-11 再被害までの期間_配偶者暴力、ストーカー【Q23】

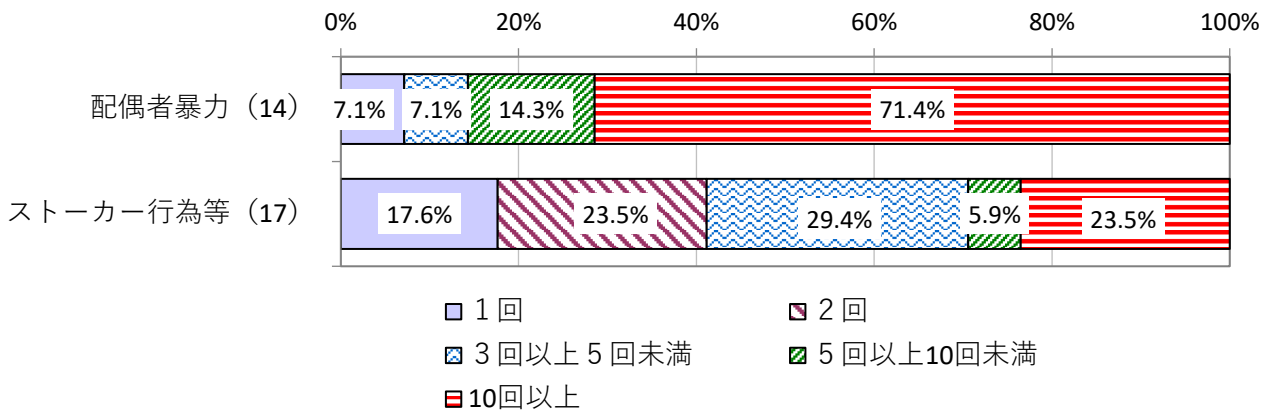


※対象：Q22（再被害の有無）で「ある」と回答した方（31人）のみ。

エ. 再被害の回数

再被害の回数については、図表7-12のとおり。

図表 7-12 再被害の回数_配偶者暴力、ストーカー【Q24】



※対象：Q22（再被害の有無）で「ある」と回答した方（31人）のみ。

オ. 再被害の相談状況

再被害に関する相談状況については、配偶者暴力では「どこにも（誰にも）相談していない」（36.4%）、ストーカーでは「母」「配偶者」（それぞれ 28.6%）との回答比率が最も高くなっている（図表 7-1 3）。

図表 7-1 3 再被害の相談状況（複数回答）_配偶者暴力、ストーカー【Q25】

	全体	父	母	継父	継母	配偶者	兄弟姉妹	子	それ以外の 家族・親族	勤務先の同 僚・友人など	勤務先の上 司など	学校などの 友人	学校の先生・ 学生相談室・ スクールカウ ンセラーなど
配偶者暴力	22	5 (22.7%)	6 (27.3%)	1 (4.5%)	2 (9.1%)	0 (0.0%)	3 (13.6%)	2 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (4.5%)	2 (9.1%)
ストーカー行為等	42	7 (16.7%)	12 (28.6%)	0 (0.0%)	1 (2.4%)	12 (28.6%)	3 (7.1%)	3 (7.1%)	2 (4.8%)	4 (9.5%)	5 (11.9%)	4 (9.5%)	0 (0.0%)

	学校・勤務先 以外の友人 など	交際相手	弁護士・日本 司法支援セ ンター(法テ ラス)	地方公共団 体の総合的 対応窓口	児童相談所	性犯罪・性暴 力被害者の ためのフン ストップ支援 センター	その他の行 政機関・福祉 機関の相談 窓口	警察	民間の犯罪 被害者支援 団体	医療機関	その他	どこにも(誰 にも)相談し ていない
配偶者暴力	2 (9.1%)	0 (0.0%)	1 (4.5%)	1 (4.5%)	1 (4.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (18.2%)	2 (9.1%)	1 (4.5%)	0 (0.0%)	8 (36.4%)
ストーカー行為等	1 (2.4%)	0 (0.0%)	1 (2.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (23.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (7.1%)	9 (21.4%)

※対象：SC 4（警察に通報したか）で本人若しくは本人以外の方が通報したと回答した方、又は SC 5（相談した相手・機関）で行政の相談窓口若しくは警察と回答した方（配偶者暴力：22 人、ストーカー行為等：42 人）のみ。

カ. 再被害の影響

再被害の有無別による、身体上の問題と事件との関連については図表 7-1 4、精神的な問題と事件との関連については図表 7-1 5 のとおり。

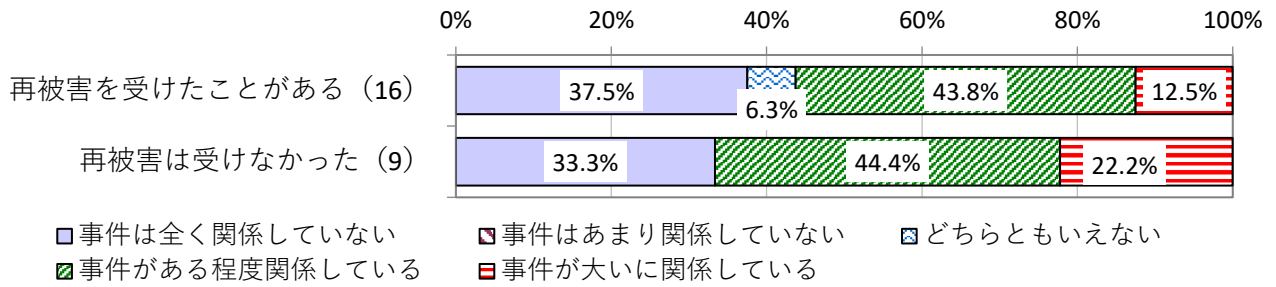
再被害の影響について、再被害の有無別で K 6 の重症精神障害相当の状態である 13 点以上の割合を比べると、「再被害を受けたことがある」（51.6%）が「再被害は受けなかった」（18.2%）を 33.4 ポイント上回っている（図表 7-1 6）。

再被害の有無別で UCLA の 10 点以上の割合を比べると、「再被害を受けたことがある」（25.8%）が「再被害は受けなかった」（12.1%）を 13.7 ポイント上回っている（図表 7-1 7）。

日常生活が行えなかったと感じた日数をみると、直近 1 年間で 31 日以上仕事や日常生活が行えなかった（「31～100 日」と「101 日以上」の和）との回答比率は、「再被害を受けたことがある」（25.8%）が「再被害は受けなかった」（12.1%）を 13.7 ポイント上回っている（図表 7-1 8）。

被害からの回復度をみると、回復度が半分以下（「0～2 割程度回復した」と「3～4 割程度回復した」の和）との回答比率は、「再被害を受けたことがある」（22.6%）が「再被害は受けなかった」（6.0%）を 16.6 ポイント上回っている（図表 7-1 9）。

図表 7-14 再被害の有無別、身体上の問題と事件との関連_配偶者暴力、ストーカー【Q22、Q29】

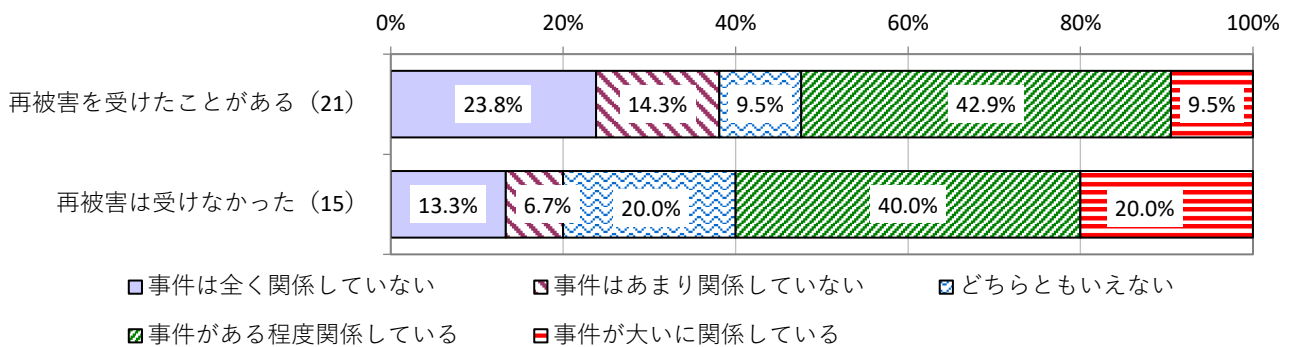


※対象：SC 4（警察に通報したか）で本人若しくは本人以外の方が通報したと回答した方、又は SC 5（相談した相手・機関）で行政の相談窓口若しくは警察と回答した方（64人）のうち、Q 28（身体上の問題を感じたか）で「感じた」と回答した方（25人）のみ。

【参考】配偶者暴力、ストーカーの再被害の有無別の差異

		全体	事件は全く関係していない	事件はあまり関係していない	どちらともいえない	事件がある程度関係している	事件が大いに関係している
配偶者暴力	再被害を受けたことがある	10	4 (40.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	4 (40.0%)	1 (10.0%)
	再被害は受けなかった	3	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)
ストーカー行為等	再被害を受けたことがある	6	2 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (50.0%)	1 (16.7%)
	再被害は受けなかった	6	3 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)

図表 7-15 再被害の有無別、精神的な問題と事件の関連_配偶者暴力、ストーカー【Q22、Q32】

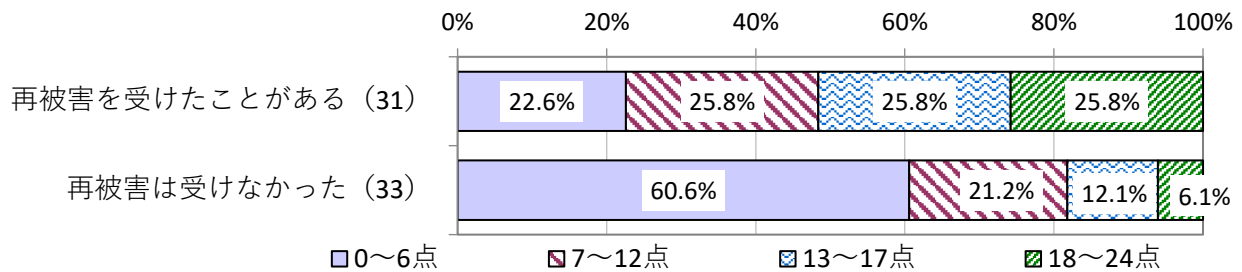


※対象：SC 4（警察に通報したか）で本人若しくは本人以外の方が通報したと回答した方、又は SC 5（相談した相手・機関）で行政の相談窓口若しくは警察と回答した方（64人）のうち、Q 31（精神的な問題を感じたか）で「感じた」と回答した方（36人）のみ。

【参考】配偶者暴力、ストーカーの再被害の有無別の差異

		全体	事件は全く関係していない	事件はあまり関係していない	どちらともいえない	事件がある程度関係している	事件が大いに関係している
配偶者暴力	再被害を受けたことがある	11	3 (27.3%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	5 (45.5%)	2 (18.2%)
	再被害は受けなかった	6	1 (16.7%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)
ストーカー行為等	再被害を受けたことがある	10	2 (20.0%)	3 (30.0%)	1 (10.0%)	4 (40.0%)	0 (0.0%)
	再被害は受けなかった	9	1 (11.1%)	0 (0.0%)	3 (33.3%)	4 (44.4%)	1 (11.1%)

図表 7-16 再被害の有無別、K6 得点_配偶者暴力、ストーカー【Q22、Q34】

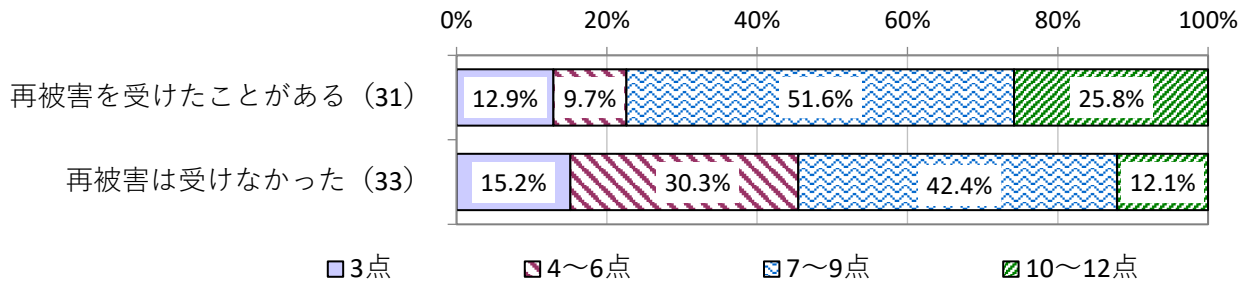


※対象：SC 4（警察に通報したか）で本人若しくは本人以外の方が通報したと回答した方、又は SC 5（相談した相手・機関）で行政の相談窓口若しくは警察と回答した方（64人）のみ。

【参考】配偶者暴力、ストーカーの再被害の有無別の差異

		全体	0～6点	7～12点	13～17点	18～24点
配偶者暴力	再被害を受けたことがある	14	3 (21.4%)	2 (14.3%)	3 (21.4%)	6 (42.9%)
	再被害は受けなかった	8	4 (50.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)
ストーカー行為等	再被害を受けたことがある	17	4 (23.5%)	6 (35.3%)	5 (29.4%)	2 (11.8%)
	再被害は受けなかった	25	16 (64.0%)	5 (20.0%)	3 (12.0%)	1 (4.0%)

図表 7-17 再被害の有無別、UCLA 得点_配偶者暴力、ストーカー【Q22、Q36】

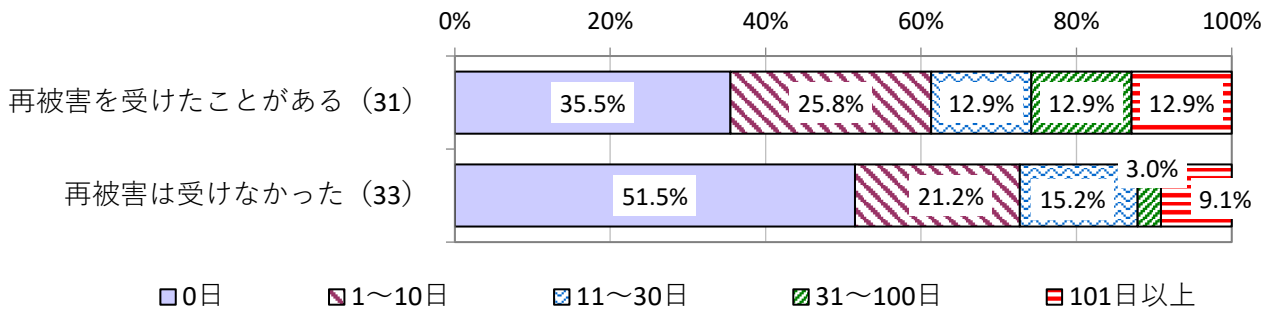


※対象：SC 4（警察に通報したか）で本人若しくは本人以外の方が通報したと回答した方、又は SC 5（相談した相手・機関）で行政の相談窓口若しくは警察と回答した方（64人）のみ。

【参考】配偶者暴力、ストーカーの再被害の有無別の差異

		全体	3点	4~6点	7~9点	10~12点
配偶者暴力	再被害を受けたことがある	14	2 (14.3%)	0 (0.0%)	5 (35.7%)	7 (50.0%)
	再被害は受けなかった	8	1 (12.5%)	2 (25.0%)	3 (37.5%)	2 (25.0%)
ストーカー行為等	再被害を受けたことがある	17	2 (11.8%)	3 (17.6%)	11 (64.7%)	1 (5.9%)
	再被害は受けなかった	25	4 (16.0%)	8 (32.0%)	11 (44.0%)	2 (8.0%)

図表 7-18 再被害の有無別、日常生活が行えなかったと感じた日数_配偶者暴力、ストーカー【Q22、Q35】

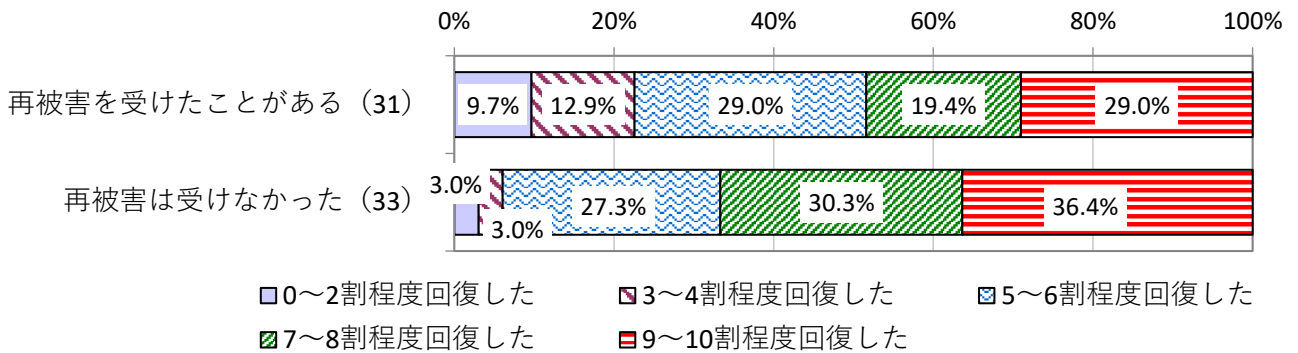


※対象：SC 4（警察に通報したか）で本人若しくは本人以外の方が通報したと回答した方、又は SC 5（相談した相手・機関）で行政の相談窓口若しくは警察と回答した方（64人）のみ。

【参考】配偶者暴力、ストーカーの再被害の有無別の差異

		全体	0日	1～10日	11～30日	31～100日	101日以上
配偶者暴力	再被害を受けたことがある	14	4 (28.6%)	5 (35.7%)	2 (14.3%)	1 (7.1%)	2 (14.3%)
	再被害は受けなかった	8	3 (37.5%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)
ストーカー行為等	再被害を受けたことがある	17	7 (41.2%)	3 (17.6%)	2 (11.8%)	3 (17.6%)	2 (11.8%)
	再被害は受けなかった	25	14 (56.0%)	5 (20.0%)	4 (16.0%)	0 (0.0%)	2 (8.0%)

図表 7-19 再被害の有無別、被害からの回復度_配偶者暴力、ストーカー【Q22、Q53】



※対象：SC4（警察に通報したか）で本人若しくは本人以外の方が通報したと回答した方、又はSC5（相談した相手・機関）で行政の相談窓口若しくは警察と回答した方（64人）のみ。

【参考】配偶者暴力、ストーカーの再被害の有無別の差異

		全体	0～2割程度回復した	3～4割程度回復した	5～6割程度回復した	7～8割程度回復した	9～10割程度回復した
配偶者暴力	再被害を受けたことがある	14	3 (21.4%)	1 (7.1%)	4 (28.6%)	3 (21.4%)	3 (21.4%)
	再被害は受けなかった	8	1 (12.5%)	0 (0.0%)	4 (50.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)
ストーカー行為等	再被害を受けたことがある	17	0 (0.0%)	3 (17.6%)	5 (29.4%)	3 (17.6%)	6 (35.3%)
	再被害は受けなかった	25	0 (0.0%)	1 (4.0%)	5 (20.0%)	8 (32.0%)	11 (44.0%)